

水稲用除草剤

## 2,4-D「石原」アミン塩



除草剤分類

4

農林水産省登録	第7698号
有効成分	2,4-PA ジメチルアミン塩・・・・・・・・・・ 49.5%
性状	茶褐色液体
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
有効年限	5年
包装	(100g×10本) × 6函

## 特長

✓ ホルモン型、吸収移行型の除草剤で、雑草の茎葉や根から吸収され、体内を移行して生理的な障害を与えて枯死させます。

✓ 土壌中の移動性は比較的大きく、効力の持続期間は約20日間です。

✓ センチピードグラスに対しても安全性が高く、養生中の雑草管理にも使えます。

✓ 本剤の作用は選択性が明瞭であり、広葉雑草には効果が高く、イネ科雑草に効果がありません。

✓ 高温時ほど（25℃以上）効果が高くなります。

# 適用作物と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	2,4-PAを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
水稻	—	水田雑草 (イネ科を除く)	有効分けつ終 止期～幼穂形 成期前 但し、収穫60 日前まで	80～120g	70～100ℓ	1回	落水散布 (あらかじめ 落水し、雑草 を十分露出さ せ、水に希釈 して噴霧機な どで雑草の茎 葉に十分かか るように均一 に散布する。)	1回
			幼穂形成始期 但し、収穫60 日前まで	60g				
水田作物 (水稻刈取 跡)	水稻 刈取跡	マツバイ	稲刈取後 10日以内	500g	90～110ℓ			
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び 多年生広葉雑 草	雑草生育期 (草丈30cm 以下) 但し、収穫30 日前まで	100g	100ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
さとうきび	—		植付後又は株 出管理後30日 以降雑草生育 期 (草丈30cm 以下) 但し、収穫30 日前まで	300～500g	100～150ℓ	3回以内	雑草茎葉散布 又は全面散布	3回以内
飼料用さとう きび			植付後又は株 出管理後30日 以降雑草生育 期 (草丈30cm 以下) 但し、収穫90 日前まで					
日本芝			芝生育期	1000g	200～300ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
センチピード グラス			センチピード グラス生育期 (雑草生育期 (草丈20cm 以下))	100～300g	100ℓ			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面等	一年生広葉雑 草	雑草生育期 (草丈20cm 以下)	100～200g	70～100ℓ	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布	3回以内
		多年生広葉雑 草		200～300g				

※本内容は2021年12月17日付の登録内容に基づいています。

# 効果・薬害等の注意事項

## 一般的注意事項（共通）

- 立毛中の広葉作物（桑、茶、果樹などを含む）に本剤がかかると薬害を生じるおそれがあるので、散布の際はこれらの作物（特に畦畔大豆のある場合）に飛散して、かからないように注意してください。
- 散布直後の降雨は効果が低下するので、降雨前の散布はさけ、なるべく好天の日中を選んで散布してください。
- 散布に用いた器具類は使用後できるだけ早く水で十分洗っておき、他の用途に使用する際の薬害の原因にならないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

## 作物別注意事項

### 水稻の水田雑草防除に使用する場合

- 散布時期は、水稻の有効分けつ終止期より幼穂形成始期までの間ですので、水稻の生育初期に発生する雑草を抑制することはできません。したがって、本剤使用に先立ってこれらの初期発生雑草を抑制する除草剤を散布するか、または中耕除草を行ってください。
- マツバイ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、クログワイなど多年生雑草は本剤の水稻生育中の処理では完全に枯殺することはできないので、機械または手取り除草を組み合わせるか、他の除草方法を行ってください。マツバイは稲刈取後処理で、効果的に防除できます。
- 散布に当たっては、散布1～2日前に落水しておき、本剤の使用量を少量の水でよく溶かしてから10アール当り70～100ℓの水でうすめ、よくかきまぜてから散布機で雑草全面に散布してください。  
特にアブノメ、カヤツリグサ、マツバイなどの細葉の雑草は薬剤が付着しにくいので、所定量の範囲で散布量をやや多くし、十分雑草にかかるようにていねいに散布してください。  
散布後2～3日間は落水のままとし、灌水しないでください。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 散布に当たっては、なるべく株間に均一に散布し、稲体の上から散布しないように注意してください。
- 有効分けつが幼穂形成期までに確保できる場合は、有効分けつ終止期から幼穂形成期前までに使用してください。
- 有効分けつが幼穂形成期までに確保できない場合は、幼穂形成始期に使用してください。
- 本剤は、極端な高温や低温の条件では薬害を生じるおそれがあるので、そのような条件下においては所定量の範囲内で低めの薬量で使用してください。

### 水稻刈取跡地におけるマツバイ防除に使用する場合

- 除草効果は高温晴天時ほど高いので、日中の気温が20℃以上の天気の良い日を選んで散布してください。
- 稲刈取直後のマツバイの生育の旺盛な時期に処理すると除草効果が高いので、稲刈取後できるだけ早く散布してください。
- 雑草の多いときや、まき遅れた場合は、所定量の範囲内で使用量を多くしてください。

### 水田畦畔雑草防除に使用する場合

- のり面に使用しないでください。また、水田への飛散、流入により薬害を生じるおそれがあるので注意してください。

### 芝に使用する場合

- 本剤の所要量を所定量の水に希釈して、噴霧機などで雑草の茎葉に十分散布してください。
- 日本芝は萌芽期の抵抗力があまり強くないので、完全に生え揃った後に散布してください。  
なお、枯殺力は高温になるほど強くなるので、7月頃では散布前に芝刈りを行って、雑草の生育を抑えた後に散布するとさらに効果的です。
- 散布の際、芝生の中や付近の草花や花木などに薬液がかからないよう、その付近での散布はさけてください。
- 散布後、芝生が若干黄変することがありますが、1～2週間後には回復します。

### さとうきび、飼料用さとうきびに使用する場合

- イネ科雑草には効果が劣るので、イネ科雑草が優占している圃場では、イネ科雑草に有効な他剤との組み合わせで使用してください。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布してください。

### 公園、堤とう等で使用する場合

- 多年生広葉雑草に使用する場合、セイタカアワダチソウ、イタドリ等大型多年生広葉雑草を対象としないでください。

## 安全使用上の注意事項



- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には、直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は、必ず安全な場所に保管してください。

### 魚毒性等

この登録に係る使用方法では問題ありません。

### 保管

密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所に保管してください。種子、苗、肥料または他の農薬などと隔離してください。

## 備考

# ニョノン デイ® 2,4-D「回原」アミン塩

## <希釈早見表>

公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、宅地、のり面などにご使用頂く場合

水量	2,4-Dアミン塩 使用量		散布面積
	多年生広葉雑草 スギナ中心	一年生広葉雑草	
2.8~4ℓ	8~12g	4~8g	40m <sup>2</sup>
7~10ℓ	20~30g	10~20g	100m <sup>2</sup>
14~20ℓ	40~60g	20~40g	200m <sup>2</sup>

一部登録抜粋



**お手持ちの散布機の容量に合わせて  
ご使用いただけます。**

植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布してください。

